

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくキッズ倶楽部 武岡事業所		
○保護者評価実施期間	令和8年1月4日 ～ 令和8年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月4日 ～ 令和8年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育園、幼稚園との連携	・送迎時に事業所や園での様子を話し、利用児の特性に応じた支援方法の共通理解を図っている。 ・夏季には連絡会を設け、園の先生方に事業所での様子を見学して頂き情報共有を行った。	・保育園や幼稚園での利用児の様子を見学させて頂き、更に密に連携を図ることで支援の幅を広げる。
2	・専門職との連携と職員の専門性	・専門職が来所日に保護者相談の取り入れ。 ・専門性の高い職員配置を行っているため、個々の利用児に合った支援方法を職員間で周知している。 ・専門職の視点で幼児期に必要な課題の提供を見直したり、意見を交換することが増えた。 ・保育士経験や体操指導経験のある職員の視点で、活動内容や支援方法を全体で模索している。	・職員の研修の機会を増やすことで、知識や情報を職員間で共有し合い支援の質の向上に繋げる。
3	・保護者やきょうだいが参加できるイベントの実施	・夏祭りや、親子体操、茶話会、サッカー大会の実施。保護者同士での交流の場も見られ、きょうだいもイベントに参加する姿もあった。	・保護者や子ども、きょうだいが参加しやすいイベントを取り入れる。 ・茶話会などの集まりに負担を感じる保護者もいるため、参加の無理強いはいしない。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流	・地域との交流する場はあっても参加依頼など調整ができていない。	・地域の催し物への参加や、鹿児島市で行っている地域交流の場を調査し参加できる場があるか確認する。
2	・避難時の訓練について	・事業所内では避難訓練を毎月行っているが、保護者と連携を取って災害時の引き渡しについて把握できていない。	・災害時の引き渡しカードの重要性や、保護者と引き渡し訓練や園との連携の図り方の再確認。
3	・建物のバリアフリー化	・2階に療育室があるため階段を不便に感じる。長い廊下と階段、外にトイレがあるため危険度も高い。	・転落防止のため柵を設置(R8.1月～) 階段手すりの設置も検討中。外トイレのため衝突の危険性もあり職員が必ず見守りを行う。